

第 6 章



長崎県のさかな

冬



ブリ



フグ



イワシ

◎魚の図柄はシーボルト「日本動物誌」より
転写したものです。

第6章 計画の成果指標

(1) 成果指標設定にあたって

基本目標及び基本施策に設定している指標については、可能な限り取組の成果を表す指標を設定しており、当該数値により毎年進捗管理を行うこととしています。

基本目標	関連指標			
I. 次世代へつなぐ 水産資源と 漁場づくり	指標名	単位	H20年(基準年)	H27年(目標年)
	海面漁業生産量	万トン	30	30
II. 収益性の高い、 安定した漁業・養殖業の 経営体づくり	指標名	単位	H21年(基準年)	H27年(目標年)
	資源状態が維持・回復した魚種数	種	9	12
III. 消費者も産地も潤う 水産物の 供給体制づくり	指標名	単位	H20年(基準年)	H27年(目標年)
	海面養殖業生産額	億円	247	300
IV. 地域を支え、食を支える 漁業者づくり	指標名	単位	H20年(基準年)	H27年(目標年)
	漁業就業1人あたりの生産額	万円	587	740
V. 安全で快適な活力ある 漁村づくり	指標名	単位	H20年(基準年)	H27年(目標年)
	水産加工品出荷額	億円	552	650
VI. 安全で快適な活力ある 漁村づくり	指標名	単位	H21年(基準年)	H27年(目標年)
	魚価	円/kg	254	262
VII. 安全で快適な活力ある 漁村づくり	指標名	単位	H17~21年度 累計 (基準年)	H23~27年度 累計 (目標年)
	新規就業者数	人	705	750
VIII. 安全で快適な活力ある 漁村づくり	指標名	単位	H21年(基準年)	H27年(目標年)
	漁業体験参加者数	千人	20	25
IX. 安全で快適な活力ある 漁村づくり	指標名	単位	H22年(基準年)	H27年(目標年)
	環境保全活動取組集落数	集落	112	112

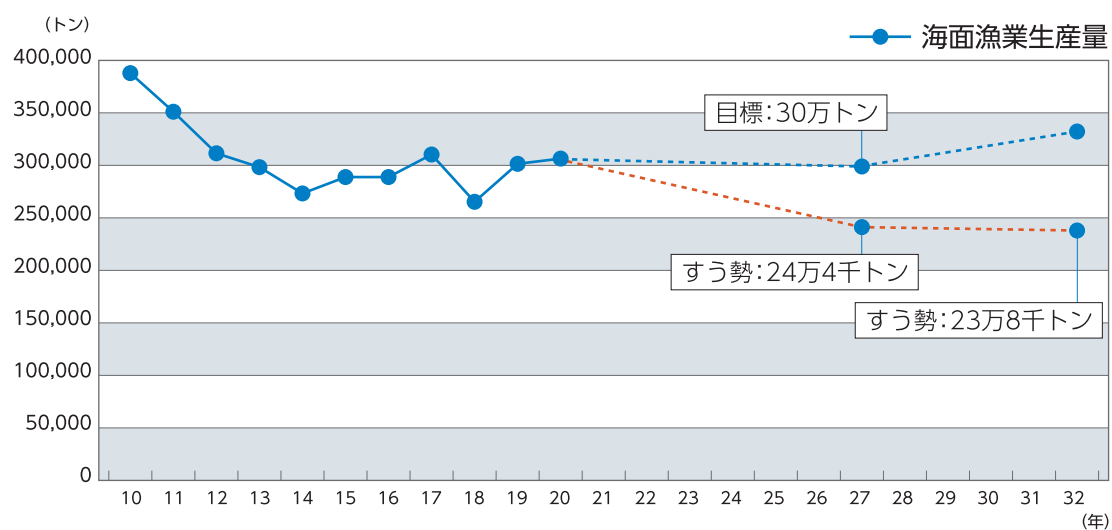
基本目標	基本施策	関連指標
I. 次世代へ つなぐ 水産資源と 漁場づくり	1.資源管理による 水産資源の維持・ 回復	●自主的な資源管理計画策定数 目標値:50件(H27年度) 基準値:35件(H21年度)
	2.栽培漁業の 効率的な推進	●共同放流体制が構築された魚種数 目標値:3魚種(H27年度) 基準値:1魚種(H21年度)
	3.漁業管理体制の 見直しと取締の強化	●許可制度の見直し件数 目標値:3件(H27年度) 基準値:一件
	4.資源増殖と 沿岸環境の保全を 目指す漁場づくり	●漁場整備面積 目標値:650km ² (H27年度) 基準値:531km ² (H21年度)
II. 収益性の高い、 安定した漁業・ 養殖業の 経営体づくり	5.収益性の高い 漁業生産体制の構築	●新技術等の導入に対する支援件数 目標値:25隻(H27年度) 基準値:一隻 ●認定漁業者に対する支援件数 目標値:120件(H27年度) 基準値:一件
	6.収益性の高い 養殖業の育成	●魚類養殖生産量に占める 新魚種(ハマチ・マダイ以外)の割合 目標値:45%(H27年) 基準値:35.6%(H20年) ●マグロ養殖の生産量 目標値:2,000トン(H25年) 基準値:1,100トン(H21年)
	7.漁家経営安定対策の 推進	●共済加入率 目標値:70%(H27年度) 基準値:43%(H21年度)
III. 消費者も 産地も潤う 水産物の 供給体制 づくり	8.付加価値の高い ブランド製品の 育成強化	●ブランド製品販売額の向上 目標値:120億円(H27年度) 基準値:99.7億円(H21年度) ・平成「長崎俵物」 目標値:10億円 基準値:5.2億円 ・ブランド鮮魚 目標値:100億円 基準値:94.5億円 ・地域ブランド 目標値:10億円 基準値:一億円

基本目標	基本施策	関連指標
III. 消費者も 産地も潤う 水産物の 供給体制 づくり	9.地産地消の推進と 水産物の県外への 販路拡大	●生産者と飲食店等との商談会等における新たな取引成立件数 目標値:10件(H27年度) 基準値:一件
	10.水産物輸出戦略の 推進	●東アジア向け鮮魚等輸出額(関係団体分) 目標値:8億円(H27年度) 基準値:2.4億円(H21年度)
	11.安全・安心な 水産物の安定供給	●高度な衛生管理体制により取り扱われる水産物の数量 目標値:50,000トン(H27年) 基準値:一トン
IV. 地域を支え、 食を支える 漁業者づくり	12.漁業の将来を担う 人材の確保	●営漁計画認定者数 (リース漁船支援対象者数) 目標値:10人[累計50人](H27年度) 基準値:6人(H17~H21年度平均)
	13.地域を支える 意欲ある 漁業者の育成	●漁業士数 目標値:168人(H27年度) 基準値:148人(H21年度) ●ライフジャケット装着率 目標値:60%(H27年度) 基準値:40%(H21年度)
V. 安全で快適な 活力ある 漁村づくり	14.漁村の中核的 組織である漁協の 機能強化	●漁業協同組合数 目標値:50組合(H27年度) 基準値:71組合(H21年度)
	15.安全で快適な 漁村の生活・就労 環境の基盤整備	●就労環境改善のための施設整備 (浮棧橋等、防風対策、防暑対策)漁港数 目標値:29漁港(H27年度) 基準値:20漁港(H21年度) ●耐震岸壁が完了した漁港数 目標値:3漁港(H27年度) 基準値:1漁港(H22年度) ●機能保全計画を策定した漁港数 目標値:50漁港(H27年度) 基準値:14漁港(H22年度)
	16.地域資源の活用による 漁村地域の 活性化	●漁業体験メニュー数 目標値:110(H27年度) 基準値:99(H21年度)
17.水産業・漁村に対する県民理解の促進		●水産部HPへのアクセス件数 目標値:36,000件(H27年度) 基準値:29,851件(H21年度)

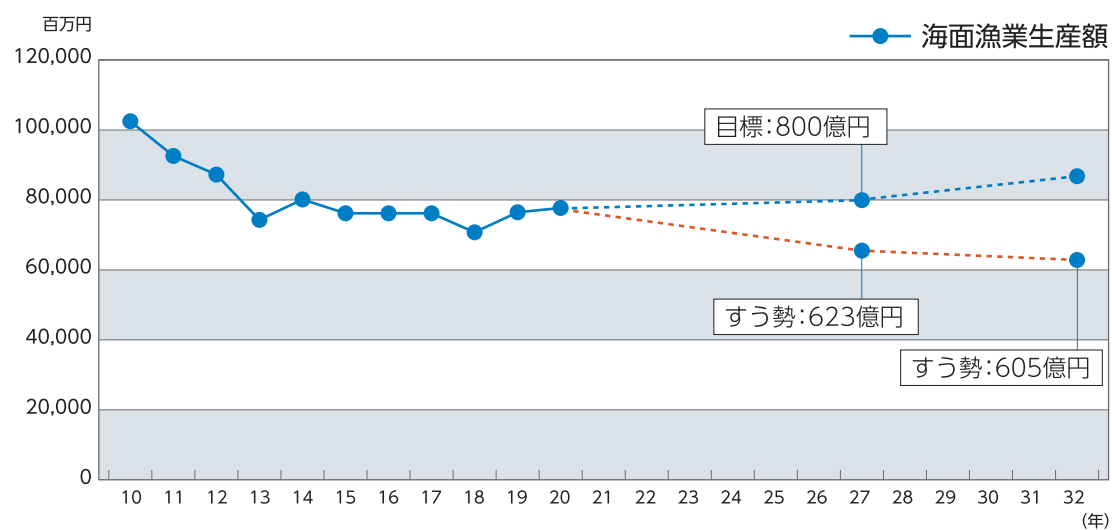
(2) 5年後、10年後の本県水産業の姿

(海面漁業)

◎海面漁業の生産量は、平成10年からの統計データに基づくすう勢では、平成27年に24万4千トン、平成32年には23万8千トンと推計されますが、栽培漁業や漁場整備、漁場環境の保全等による資源の維持・回復と、漁業の収益性向上により中核的な担い手を育成・確保することで、平成27年の生産量は、現状の30万トンの確保をめざします。

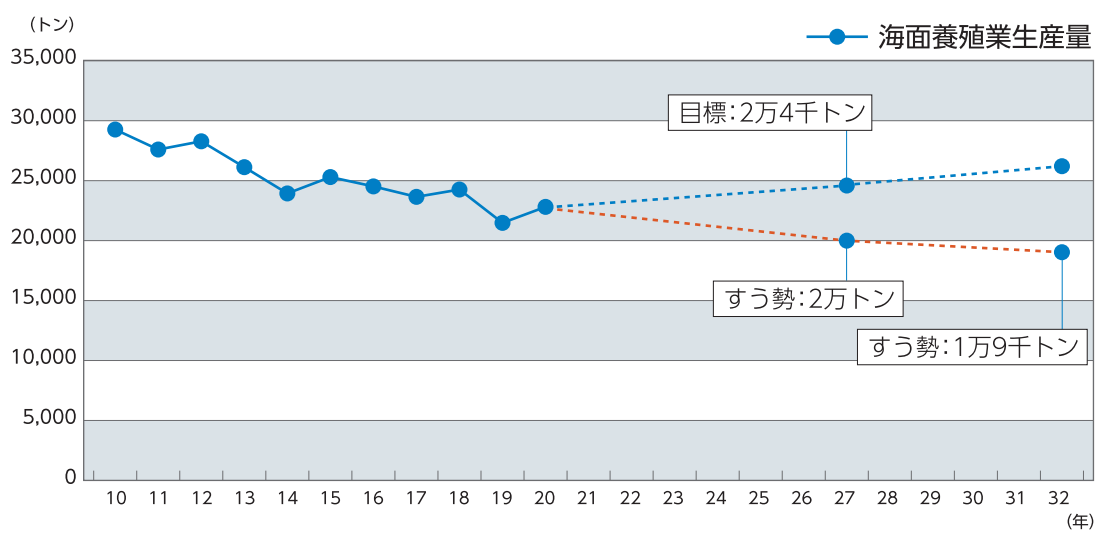


◎海面漁業の生産額は、平成10年からの統計データに基づくすう勢では、平成27年に623億円、平成32年には605億円と推計されますが、未利用資源の活用やブランド化の推進などの取組により、平成27年の生産額は800億円をめざします。

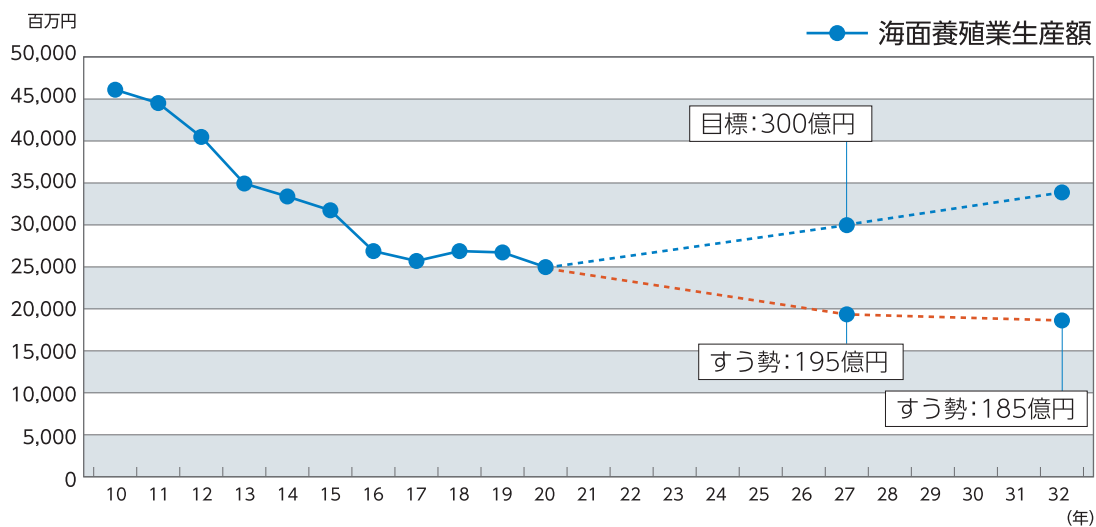


(海面養殖業)

◎海面養殖業の生産量は、平成10年からの統計データに基づくすう勢では、平成27年に2万トン、平成32年には1万9千トンと推計されますが、マグロ養殖の振興等により、平成27年の生産量は2万4千トンをめざします。



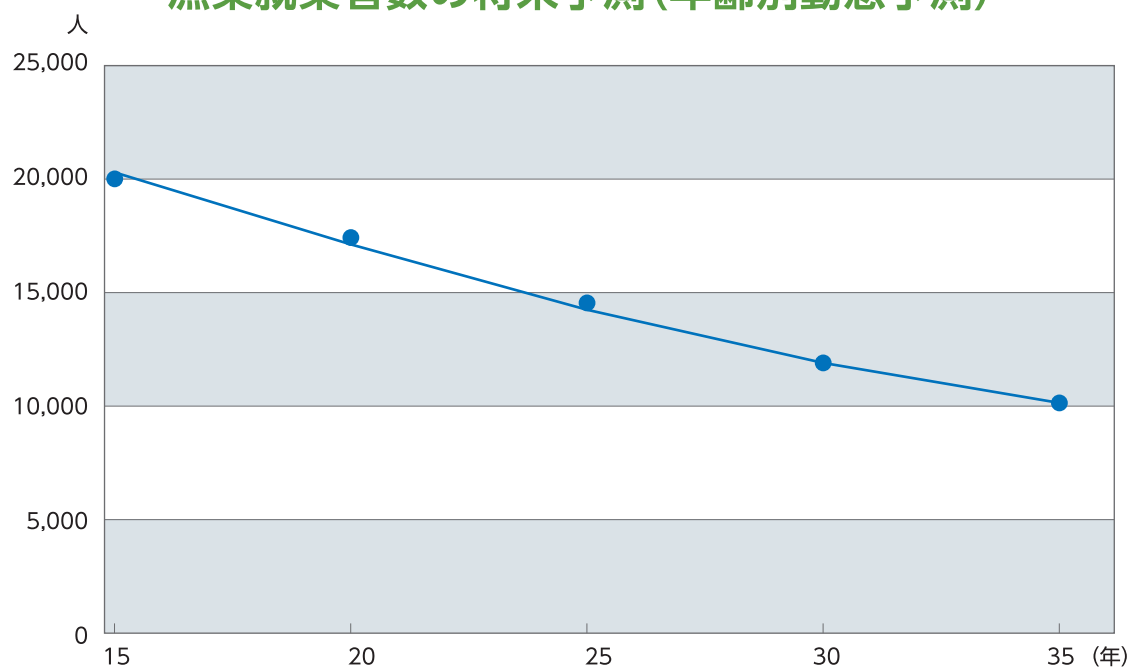
◎海面養殖業の生産額は、平成10年からの統計データに基づくすう勢では、平成27年に195億円、平成32年には185億円と推計されますが、クロマグロや新魚種の導入等により、平成27年の生産額は平成27年に300億円をめざします。



(漁業就業者数)

◎漁業就業者数は、平成15年から平成20年にかけての年齢別動態から予測すると、平成20年の17,466人が、平成27年には13,575人、平成32年には11,339人と推定されますが、各地域の漁業を支える主な担い手の育成や新規就業者対策等により、平成27年の就業者数は15,000人をめざします。

漁業就業者数の将来予測(年齢別動態予測)



(漁業生産性指数: 漁業生産額 / 漁業就業者数)

◎漁業就業者1人あたりの生産額については、平成20年の587万円/人(102,550百万円/17,466人)が、平成27年には740万円/人(110,000百万円/15,000人)と平成20年のおよそ25%増をめざします。